

第6回 立野小学校 授業研究会

講師

文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官・学力調査官 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官	有本 淳	先生
文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官・学力調査官 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官	川上 真哉	先生
横浜市立横浜深谷台小学校 校長	角井 治朗	先生
横浜市立三保小学校 校長	鈴木 康史	先生
横浜市立東品濃小学校 校長	菅谷 泰尚	先生
東京都江戸川区立一之江小学校 校長	伊藤 秀一	先生

授業者 5年1組 堀 優太 生活科「流れる水の働きと土地の変化」



川の流れによるカーブの外側と内側の土の削れ方の違いについて、モデル実験の結果を基に、より妥当な考えをつくりだして表現し、問題解決することができるような授業をしました。

実験を複数回行い、「外側は崖のようになって大きく削れたけれど、内側は少ししか削れていない。」「外側のほうが削れる力が強いことは確実に言える。」「水が流れるスピードも確かめたけれど、内側と外側で違いはよくわからなかった。」と、現段階で何が言えるのか結果を大事にしながら考えました。結果があいまいだった流れる水のスピードについて、「実際に中津川に行って本当の川で確かめたい!」と、更なる問題解決への意欲を高めました。

講師の先生方からは、「テレビで結果を見返す時に細かいところまで見ることができていた。」「簡単に結論を出そうとしない姿勢が良い。」と子どもたちへの評価をいただきました。

授業者 3年1組 大原 由美子
理科「磁石の性質」



磁石と鉄の距離が変わるときの、磁石が鉄を引き付ける力の変化について、実験結果を基に、より妥当な考えをつくりだして表現し、問題解決することができるような授業をしました。

量的・関係的な見方を働かせて考察することができるように、カップの底の磁石に引き付けられたクリップの数を、ドットプロットに表しました。「カップの数が増えると、クリップの数が減っていく。」「階段みたいに減っている。」「まとまって減ってきている。」と、一人一人が行った結果を大事にするとともに、複数の結果をまとまりで捉えながら考察していきました。

講師の先生方からは、「表現力が育っている。」「比較するために結果が見える化されていたので、結果を大切にしている姿が見られた。」と子どもたちへの評価をいただきました。